

聴覚障害者4団体（クローバーの会）DIGの報告

日時 令和4年10月1日 午後1時30分～4時30分

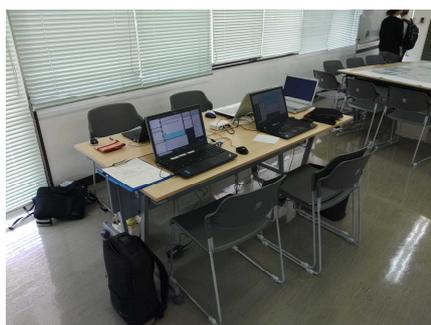
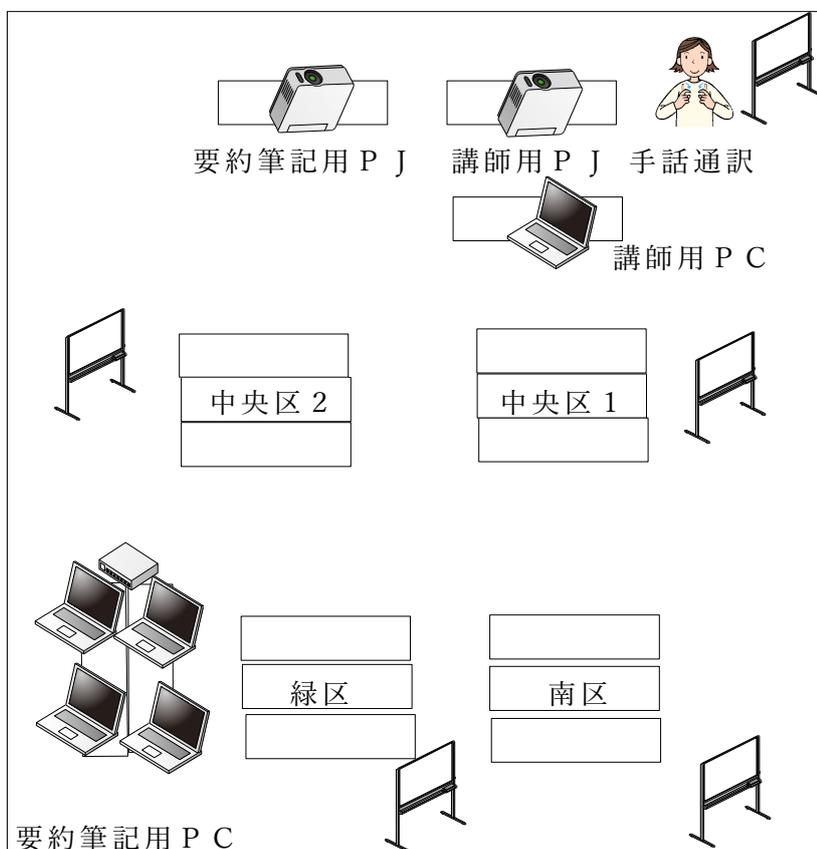
場所 相模原市立あじさい会館6階展示室

1. レイアウト設定



青画面が要約筆記（同時通訳）

白画面が講師用の画面



※要約筆記の作業スペース

手話通訳と要約筆記による通訳により講師等の発信する情報が聴覚障害者へ担保（情報保障）されます。

この情報保障レイアウトを参考に様々な研修を企画することにより、健常者だけではなく、聴覚障害者も分け隔てなく一緒に研修を受けることが出来る様になります。

2. 進め方

1. 最初に主催者の挨拶

2. マイスターの紹介

3. ゲームの進め方の説明

① D I G 機材の確認

② 指示書の見方 1～5の順番で進める

③ 休憩は自由にする

4. ゲーム開始 (J-DAGにヒントを得たワンシート・ワンタスク方式)

指示書1
地図に川、道路、鉄道をマジックで書いて下さい。

・川 ⇒ 青の斜線

・道路 ⇒ 茶色

・鉄道 ⇒ 緑色

指示書2
防災拠点となる公共施設の位置を防災施設マップで確認して、該当箇所カラーシールを貼って下さい。

・消防署所 ⇒ 赤色シール

・警察署
交番・駐在所 ⇒ 黄色シール

・区役所 ⇒ 橙色シール

・病院 ⇒ 緑色シール

・避難所 ⇒ 青色シール
・避難所・救護所 ⇒ シールの横に「機」の漢字を記載

指示書3
洪水ハザードマップや浸水(内水)ハザードマップを見ながら浸水の危険箇所をマジックで紫色の斜線にします。

土砂災害ハザードマップを見ながら急傾斜地で崖崩れや地滑りが起きそうな場所をマジックで赤の斜線にします。

指示書4
自宅から、風水害時避難場所のルートを確認して下さい。

通り道で、危険と思われる箇所を書き出して下さい。

自宅から、避難所・広域避難場所のルートを確認して下さい。

通り道で、危険と思われる箇所を書き出して下さい。

※ブロック塀なども危険ですので、考慮してください。

指示書5
台風を中心位置が静岡県焼津市にあり、相模原市でも大雨・洪水・暴風警報が発令されています。

時間は午後6時ちょうどです。
停電が発生して、周りがかかり暗くなりました。

市役所から「緊急安全確保」が発布されました。

皆さんはどのように安全を確保しますか？
グループ内で討論して下さい。

グループ内で討論した内容を模造紙に書き出して下さい。

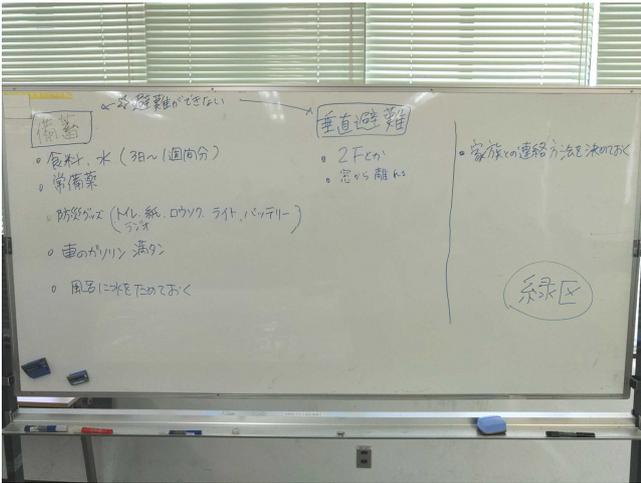
ゲーム進行中の写真(緑区)



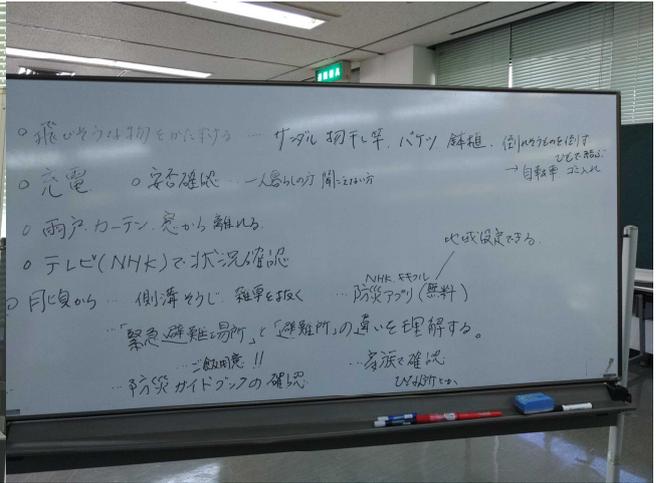
今回は、パワーポイントに表示させて一斉に進めるのではなく、上記の指示書を使い、各テーブル毎の進行速度に合わせてゲームを進め、時間を持て余すというストレスを極力発生させない対応を取りました。

各テーブルにマイスターを配置し、助言・指導を行いました。

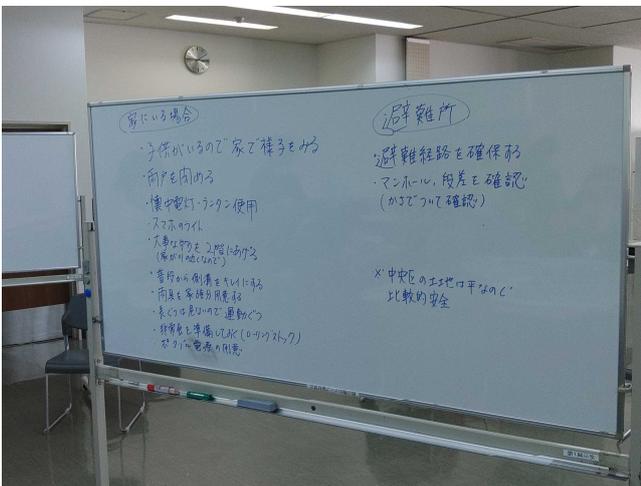
5. グループ討議の結果



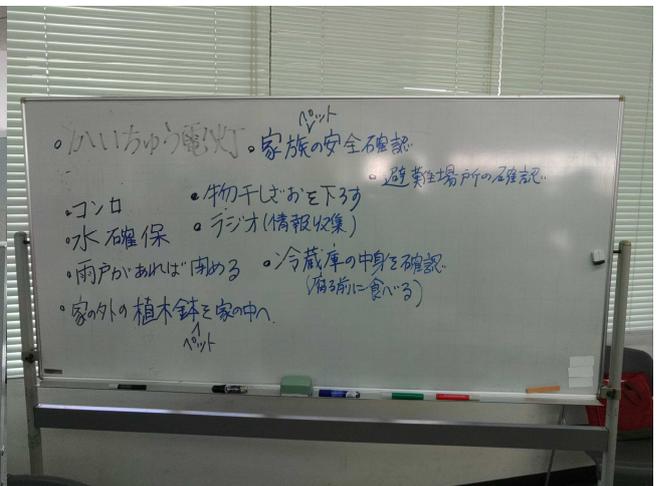
緑区 (相模湖・藤野地域)



南区



中央区1



中央区2

D I G後のグループディスカッションの結果、中央区1・2と南区は、台風での被害はほぼ発生しないということで、物が飛ばされないような対策やローリングストックという基本的防災対策の意見がほとんどでした。

※D I Gにより、避難所・一時避難場所などは把握出来たようです。

緑区 (相模湖・藤野) は、自宅周辺が土砂災害警戒区域で、避難所も土砂災害警戒区域ということで、避難すること自体がかえって危険極まりなく、逆に全員が自宅にいた方が安全で垂直避難しかない! という結論に到りました。

今回のアンケート結果は最終ページに記載します。

6. 今後の予定

聴覚障害者協会に関する今後の予定は次の通りです。

①大野中地区避難所運営協議会実施の避難所運営状況視察

大野中地区の小学校避難所運営訓練を視察を行い、聴覚障害者が避難してきたときに、どのような方策をとれば、避難生活に支障をきたさないかの提案を行って頂き、少しでも避難所における改善を進めて「福祉避難所」の負担軽減を目指すとともに、自分の住む地域における手話通訳者・要約筆記者の需要ニーズ（活躍の場）にも応える事が出来るようにする。

11月20日～12月4日の間のどこか。現在クローバーの会で調整中。

②第3回聴覚障害者協会DIG研修

1月21日（土）午後1時30分から午後4時

あじさい会館6階展示室

今回は、手話通訳・要約筆記をメインとしたDIGでしたが、1月のDIGは障害者をメインとしたDIGになります。

参加状況

	聴覚障害者	聴者	無記名	計
参加者	5	15	6	26

アンケート まとめ

1. DIG（災害図上訓練）の目的・やり方はわかりましたか？

	わかった	だいたいわかった	あまりわからなかった	全くわからなかった
計	14	12	0	0

避難場所はわかったが、途中の災害時にどう対応したら良いのでしょうか!!

2. DIGをやることで、災害時の状況を想像できましたか？

	想像できた	まあまあ想像できた	想像できなかった	全く想像できなかった
計	15	10	1	0

・場所を探してシールを貼る作業になってしまった。想像しながら自宅近くに重きを置いてやれば良かった。

3. DIGは災害対策を考える役に立ちましたか？

	大変役に立つ	役に立つ	あまり役に立たない	全く役に立たない	無回答
計	9	16	0	0	1

・避難場所確認出来た。

4. サークル活動や災害時の支援を考えるきっかけになりましたか？

	なった	どちらかといえばなった	あまりならなかった	全くならなかった
計	14	9	3	0

- ・自分のことをまず考えたい
- ・地域がすべてキケン地区・・・・・・・・どうしましょう？
- ・自分ごととして想像はできたのですが、支援までは考えが及ばなかったです。

5. その他、お気づきのことをお書きください

- ・Gの人数が多くて作業がやりづらかった。
- ・避難場所と避難所のちがいななど知らないことが多く新しい知識にふれることができとても勉強になりました。
- ・今年また3回目の学習会がある時に参加者にハザードマップを配ってほしい。
- ・災害時の避難など、日頃の心掛けが大事だと思いました。
- ・おつかれさまでした。
- ・指示書が小さいので大きな文字だとありがたいです。
- ・あらためて災害について考えることができ良い機会になった。
- ・災害への備えが大切だと、あらためて思いました。
- ・災害の途中
- ・良い体験になりました。
- ・洪水・土砂災害地区は同じ地域となっているので様々な情報をいち早く得ることが重要だと思う。情報を適切に得られれば生命は守れる。
- ・ローリングストックは年数回行っているが、もっと頻回に行うべきか考える機会を与えて頂き勉強になった。食品だけでなく、電気関係（電池等）も細めにやっていこうと思う。
- ・指示書5の内容がすごく考えさせられた。同様に「もし になったら・・・」というテーマでディスカッションやDIGができるといいかと思った。
- ・今日の地区の範囲の地図が橋本から大野台・田名・町田境までと少し広すぎて全体像をつかみにくかったです。ですが、市内のどこが避難場所かということはわかりました。